

加古川市政記者クラブ
姫路市政記者クラブ
報道関係者各位

コロナ禍で帰国不能の外国人技能実習生が急増、生活困窮 製造業不振のため、日本語と介護を勉強、介護特定技能1号として就労 加東市国際交流協会～日の出医療福祉グループ～尚徳会の地域連携が奏功



特定技能合格のベトナム人、左から
「グエン ティ マイ」さん、
「グエン ティ ラン」さん、
「ファム ティ ハン」さん



加東市国際交流協会の
日本語教室



入職先の「はまさかの里」

【概要】

日の出医療福祉グループの正会員「社会福祉法人 博愛福祉会」(本部:兵庫県加古川市、理事長:大西弘文)は、登録支援機関として、**コロナ禍で帰国不能となった製造業(※1)勤務のベトナム人技能実習生**を支援し、2021年7月1日(または5日;入国管理の関係)**介護業の特定技能1号**として「特別養護老人ホーム はまさかの里」(施設長 田中徹章)(※2)への転職を実現しました。

※1:加東市の通信機器製造事業所

※2:「社会福祉法人 尚徳会」(本部:兵庫県豊岡市、理事長:大澤和弘)

【経緯】

・2017年、ベトナム人技能実習生3名が来日、加東市で3年間勤務ののち、2020年9月25日(金)**帰国予定でしたが、コロナ禍で帰国不能となりました。**

・特定活動ビザで在留期間を6か月延長し、技能実習生の時と同じ労働時間で雇用継続されました。その後もコロナ禍で2度目の在留期間6ヶ月延長となりましたが、労働時間が週28時間以内に制限され、生活困難になりました。

・**加東市国際交流協会(日本語教室の支援者)に、日本語学習および介護特定技能1号の試験対策をサポートしていただき、2021年3月16日(火)、介護特定技能1号に合格しました。**

・3月18日(木)、加東市国際交流協会から、外国人支援事業で協働実績のある「日の出医療福祉グループ」に雇用相談し、同グループと協力関係にある地域社会福祉法人に打診していただいた結果、社会福祉法人尚徳会「はまさかの里」が受け入れを快諾、5月1日の面接を経て、5月15日に正式採用となりました。

本プレスリリースについてのお問い合わせ先

日の出医療福祉グループ

広報担当: 中島 史朗(なかしましろう)

Mobile phone: 080-4779-7682

Mail: nakashima.sr@hinode.or.jp

Tel: 079-441-8423 Fax: 079-441-8523

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家2333-2

代表者: 代表理事 大西壯司

設立: 2016年7月

会員法人: 社会福祉法人 日の出福祉会、医療法人 社団奉志会、社会福祉法人 博愛福祉会

サービス: 介護、保育、医療

事業所数: 161カ所 職員数: 約3200人 (2021年5月)

